

2. 火山の概況 (平成 15 年 9 月 4 日 ~ 平成 15 年 9 月 10 日)

浅間山では地震がやや多い状態が続いた。三宅島では噴煙活動が継続した。阿蘇山では中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発であった。桜島、諏訪之瀬島では噴火が発生した。

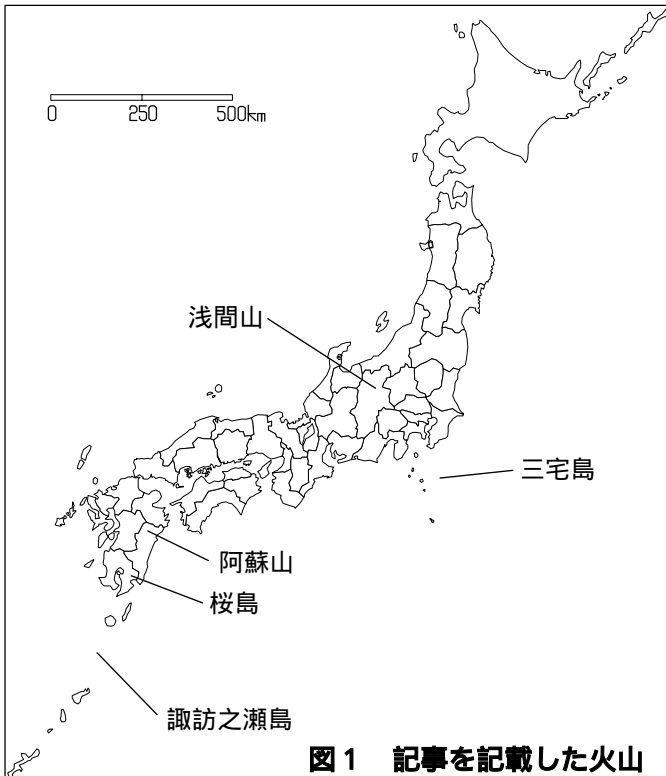


図1 記事を記載した火山

表1 最近1か月に記事を記載した火山

号	対象期間	浅間山	富士山	三宅島	阿蘇山	桜島	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島
37	9/ 4- 9/10							
36	8/28- 9/ 3							
35	8/21- 8/27							
34	8/14- 8/20							
33	8/ 7- 8/13							

注1 記号の意味

- : 噴火した火山
- : 観測データ等に变化があった火山
- : 前期間までに掲載した火山の、その後の状況等

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

浅間山 [地震・微動・熱]

6月末頃からやや多く観測されるようになった振幅の小さい地震は、今期間もやや多い状態が継続しており、1日当たり42~70回観測された(前期間31~45回)。また、振幅の小さい微動は6回観測された。

噴煙の状況は山頂部が雲に覆われて観測できない日が多かったが、9日には白色噴煙が火口縁上200mまで上がっているのが、山麓の監視カメラで観測された。また、群馬県林務部設置の赤外カメラでは、火口底で引き続き高温部が観測された。

三宅島 [微動・噴煙]

振幅の小さいやや低周波の地震は、1日当たり4~23回と落ち着いた状態で推移した。連続微動は、長期的にみると振幅が減少している中、一時的に振幅が増大する現象がみられた。なお、他の観測データにこの現象に対応する変化はみられなかった。

監視カメラでは、白色噴煙が最高で火口縁上500mまで上がっているのが観測された。

GPSによる観測では、三宅島の収縮を示していた地殻変動は収まっている。

阿蘇山 [熱・地震・微動]

中岳第一火口内の状況は、5日及び8日に実施した現地観測によると、湯だまりの色は緑色で静穏時と変わりなかったが、7月10日の土砂噴出以降見られている茶色の浮遊物があり、5月以降発生している中央部での噴湯が継続していた。湯量は減少傾向にあり8割となっていた。湯だまり表面温度の最高は77(8日)と依然高い状態であった(前期間の最高は75)。

噴煙の状況は、少量の白色噴煙が連続的に噴出しており、最高は火口縁上600mであった(前期間も600m)。

前期間の9月1日より孤立型微動が増加し、5日以降は日回数が400回を超えて多い状態で推移している。今期間の合計は3,277回であった（前期間は532回、以上図2）。また、B型地震が262回と前期間（121回）に比べ増加した。

A型地震の回数、地殻変動等その他の観測データには特に変化はなかった。

図 2-a

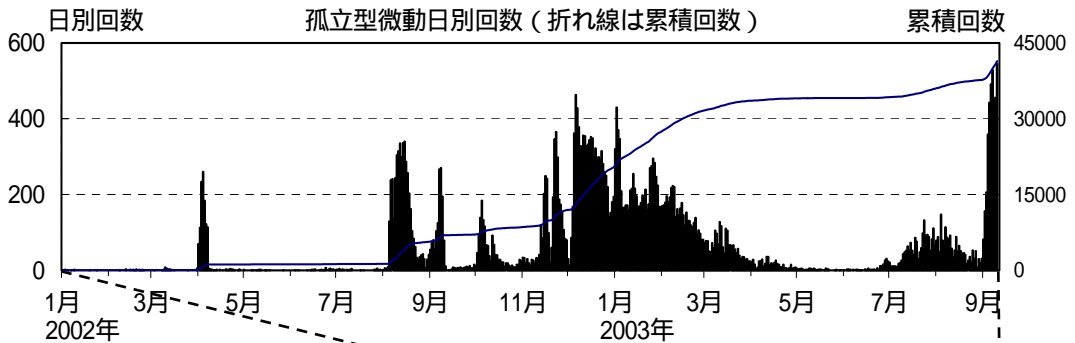


図 2-b

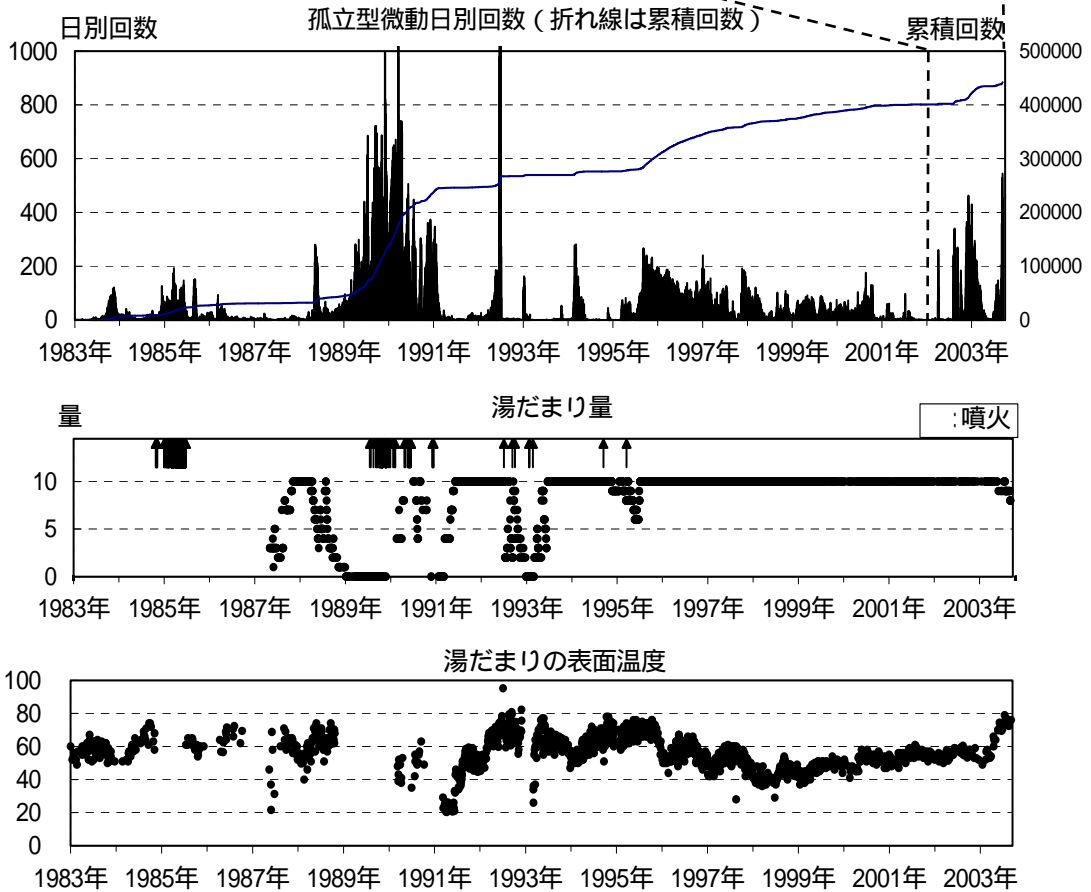


図 2 阿蘇山 火山活動経過図

a) 短期（2002年1月～2003年9月10日）孤立型微動の日回数及び累積回数

b) 長期（1983年1月～2003年9月10日）孤立型微動の日回数及び累積回数、湯だまり量及び噴火の発生時期、湯だまりの表面温度

過去20年間の活動をみると、孤立型微動の増加と、湯だまり量の減少・湯だまり表面の温度が70を超えるという現象が併せて起こった時期に噴火が発生したこともある。2002年末以降、それらの現象がみられていることから、浅部の熱的な活動が高まっていると考えられる。

1987年5月より全面湯だまり（量10）～湯だまり無し（量0）の11段階の観測を開始した。

桜島 【爆発・噴煙】

爆発が1回あった(前期間も爆発1回)。

今期間の噴煙の最高高度は800m(乳白色)であった。

鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)では降灰は観測されなかった(前期間もなし)。

諏訪之瀬島 【微動・噴煙】

期間中、ほぼ連続的に微動が発生したが、爆発はなかった(前期間は爆発1回)。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、9月3日夕方頃から5日9時頃にかけて火山灰を上げているのが確認されたが、島内の集落(御岳の南南西約4km)では降灰は確認されなかった。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第490号 (1日2回発表)	4日 09:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
	火山観測情報第503号	10日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第15号	5日 14:10	孤立型微動の増加、現地観測の結果(熱的な活動度の高い状態が継続)。
	火山観測情報第16号	8日 15:05	孤立型微動が引き続き多い状態、現地観測の結果(熱的な活動度の高い状態が継続)。